

さいたま市は政令市で 3番目に障がい者に冷たい市に?!

「心身障害者医療費支給制度」は、重度障がい者に医療費を支給する制度で、障がい者の命や健康を維持するために大変重要な制度です。この制度に所得制限を導入する条例が、日本共産党以外の賛成で可決されました。

この制度は、2015年に年齢制限が導入され、新たに65歳以上で重度障がい者になった方は対象外にされました。そして今度は所得制限の導入です。政令市でも年齢制限と所得制限の両方を導入しているのは、千葉市と浜松市の2市しかありません。まさにさいたま市は、政令市で3番目に障がい者に冷たい市になろうとしています。



議会最終日、重度障がい者への医療支援は所得や年齢に関係なく等しく受けられるものはずと訴えました

「心身障害者医療費支給制度」は、県単事業で、県が2分の1、市が2分の1負担する仕組みになっています。県が所得制限を導入しても本市では導入せず県の分を負担したとしても政令市さいたま市なら十分対応できます。以前入院時の食事代を県が廃止した際に、さいたま市は独自でその制度を維持した経緯があります。

本来、地方自治体の政治は、国、県が悪い方向に行っても市独自で市民を守る努力をするべきです。

児童虐待防止対策の 強化に向けた意見書、あがる!

東京目黒区の痛ましい事件を受けて、今年の6月議会の保健福祉委員会で取り上げた児童虐待問題。今議会では全会一致でさいたま市議会から意見書があがりました。

前進!

DV 被害者支援

昨年の9月議会決算委員会で、DV被害者のためのステップハウスに補助金を出すべきと求めました。今議会の決算委員会では補助金実施に向けて検討していくと表明されました。



2017年の決算委員会でDV被害者支援について質疑

障がい者グループホームへの独自補助

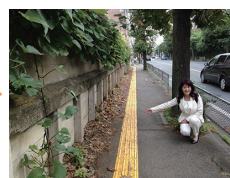
2016年、2018年の6月議会の一般質問で取り上げた障がい者グループホームへの市の独自補助の実施。今議会では「まずは運営面における市単独補助について検討したい」と前向きな答弁がありました。



6月議会では他市の例を示し独自補助を求めた報告（議会報告会にて）

実現!

草がボウボウ、歩くのも困難な
埼大通りの歩道、きれいになりました



危険な通学路に
スクールゾーン設置



住民運動で実現したスクールゾーン！
私は議会で通学路の安全対策を求め後押ししました。

下大久保上浅間橋前、注意喚起の看板がつけました



大久保東小学校の特別支援学級前のトイレがきれいになりました



汚い、臭い、草ボウボウの神田の排水路。きれいになりました



西浦和駅、市民の窓口
に図書館の図書返却ポストが設置されました



久保 みき

日本共産党

さいたま市議会議員

さいたま市議会報告【2018年秋号】

- ブログ「久保みきのひとりごと」
URL : <http://ameblo.jp/seijini-kokorowo/>
- ツイッター 久保みき @seijinikokorowo
- フェイスブック 久保美樹 facebook.com/miki.kubo.79

日本共産党さいたま市議団

TEL 048-829-1811 FAX 048-833-8165

さいたま市浦和区常盤6-4-4（さいたま市議会内）
ホームページ <http://www.jcp-saitama.jp/>

●久保みき事務所 さいたま市桜区道場3-15-20 TEL・FAX 048-762-8819